

環境事業教育常任委員会所管事務調査報告

委員長 岡本 ひとし

平成20年12月3日(水) 午前9時30分より全委員出席にて、「町内学校での学力状況について」①学力・学習状況調査の結果について、②少人数複式学級の学力確保について、を議題として調査いたしました。

平成20年度実施された学力・学習状況調査の認識と問題点についての指摘がありました。今回の学力・学習状況調査のねらいは、教育施策としてどのように考えるのか、学習状況の現状把握と学校現場で学力向上のためにどうするのかが問われ、意義ある調査であったと思われる。また課題の発見もありました。特に「読解力」を身につけるためにどうするのか、問題をこなすだけでなく、読書をする環境が減少しており生活環境の変化があると思われます。特に本町での少人数学級であれば課題解決に取り組みやすい環境であるので、より多くの子どもたちと接し、実行していく要望がありました。

町内児童生徒の現状を多くの住民のみなさんにお知らせする意味で、広報「のせ」12月号への掲載を実施したところです。調査結果の正答率の非公開については、平均正答率だけの問題がクローズアップされる活用には問題があり、特に学校別に公表すると、5人、10人の学校であれば個人の点数が判明し、いたずらに序列化や競争心をおおるだけになり、そのことが本町の教育にとって良いのかはなほだ疑問を残すところです。

小学校における国語・算数・道徳教育等については、各学校での研究発表を通じて、しっかりと実践しており、町の人権教育研究会等でも公開授業を実施しており、今後もバランスよく取り組む方針であります。生活面での課題解決には、学校・地域・家庭が一緒になった取り組みが必要であります。地域を巻き込むには、各学校がきちんと今回の調査を分析し、保護者や地域に報告することが重要であります。小中高一貫教育を取り組んできた経過もあり、社会教育の分野の地域教育協議会や放課後子ども教室などの地域の方々と協力して実施していくとの考えであります。少人数学級の学力向上のための取り組みについては、3校交流した授業を実践したり、授業改革に取り組んでおり、教育検討委員会での議論の内容を引き続き注視し、継続調査を実施してまいります。

豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 宮本 吉雄

平成20年第4回豊能郡環境施設組合議会定例会

平成20年11月28日に組合議会が開催されました。

議案について

- 1、豊能郡環境施設組合報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例(文言の修正) について専決処分の報告があり、承認されました。
- 2、平成20年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(第2号)が提出され、可決されました。主にバイパス道路分筆登記測量業務と地域環境対策補助金(鹿対策防護柵の設置)が内容です。
- 3、平成19年度豊能郡環境施設組合一般会計歳入歳出決算が提出され、不認定となりました。

追加議案について

豊能郡環境施設組合議会委員会条例の制定について議員提案され、賛成多数で可決されました。
これは、一昨年「請負契約事務等の調査に関する特別委員会の設置の件」で議員提案され可決されましたが、委員会条例がなかった理由で法的効果・効力がなかったため提案されたものです。